

10月定例記者会見 会見録 概要

10月5日(木)11:00～

質疑応答

■ つくばナンバーのデザイン案

記者 先ほどの聞き漏らしで、ナンバー案ABCのA案は何か。

市長 爽やかな青空と筑波山をシンプルに表現しています。

■ 新型インフルエンザが発症した場合のワクチン

記者 新型インフルエンザが発症した時点で、市がワクチンを用意しているということを前提に話が進んでいると思うが、ワクチンの確保について、市ではどのような形を考えているのか。

市長 ワクチンは発生してから国で管理して、発注をして、自治体に配る流れになっています。詳細については、担当から説明させます。

健康増進課 新型インフルエンザは、かつて流行したことの無いウイルスが原因であるため、新たにワクチンを製造することになります。よって、事前に備蓄することはできませんので、その製造を待つことになります。製造にかかる期間は、初の患者が発生してから約3～6か月を想定しています。現在国内3社、北里、武田薬品、化血研での製造が認められておりまして、製造状況に応じて県を通して供給されることになっております。

■ 衆議院解散総選挙

記者 解散総選挙の6区では、自民党から国光さん、希望の党から青山さんの候補者がいるが、市長はどちらを応援するのか。

市長 地元には一人でも多くの国会議員がいていただいた方がいいというスタンスですので、どちらも応援する、どちらもとも等距離で関わる中立的な立場で、という感じになると思います。

記者 青山さんは市長と高校の同級生で同じ民主党に所属していたので、昔のよしみで青山さんを応援するのではないのか。

市長 先ほど申し上げたとおり、国光さんも偶然、同い年で皆39歳。いろいろなつながりの中で何度かお会いしていて、もちろん友人関係ではありますけれど、選挙に関しては先ほど申し上げたとおりです。

記者 実際に市長選の時に青山さんは何らかの支援をしてくれたのではないか？

市長 どなたがどういう応援をしてくれたか、してくれなかったということはここで申し上げることではないと思いますが、おそらく、青山さんは青山さんなりの形で、あるいは国光さんは国光さんなりの形で応援をしていただいたものと思います。

- 記者** 中立的な立場で、どちらも等距離で関わると先ほど言っていたが、具体的には。
- 市長** どちらか一方を車に乗って演説するのに、片方は出ないということはなく、中立的な立場の中で、いろいろいただく御依頼があれば、できる形で対応していきます。私の後援会のメンバーもそれぞれの形で動いていまして、後援会としても中立な立場で、個人としてそれぞれやっていただきます。
- 記者** 後援会のメンバーはそれぞれ支持する方に行き、自身はどちらにも出るということか。例えば演説などは。
- 市長** 声が掛からないと出ようがないですし、こちらから行きたいとかいう話でもないですし、今後どういうお話をいただくかによって判断して行きたいと思います。出る場合には片方出て片方出ないということは極力ないようにしたいです。
- 記者** 政権与党の自民党が消費税を 10%に上げる理由として、使い道を変えると言っているが、地方にも多少影響があるかと思う。これに関して、つくば市の税收や来年度の事業で、市に関わる影響は考えているのか。
- 市長** その件については今調査をしているところですが、原則としては今回の変更で影響を受けることはない判断しています。